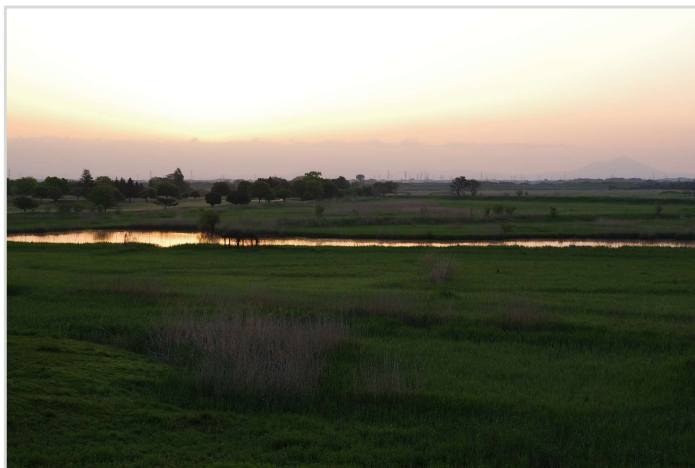


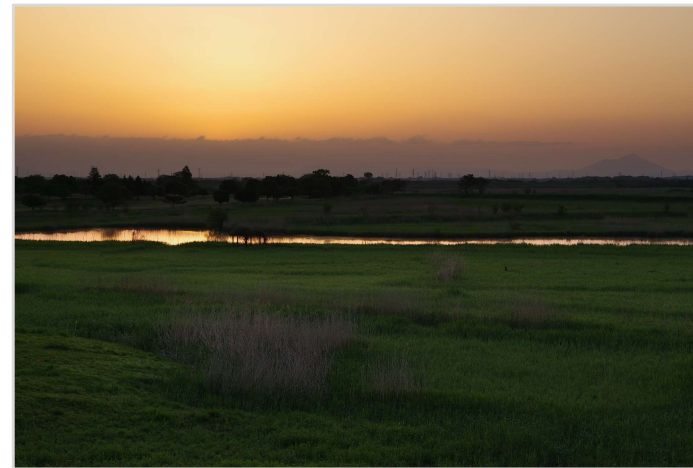
Grad ND撮影

機能概要

- 適正露出と露出マイナスの2枚の画像を合成することで、グラデーションNDフィルターを使用したような効果を得る機能です。
- 画面内の明暗差を少なくして白とび・黒つぶれを抑える効果があります
- 「最大減光量」によって、適正露出に対してどれだけ露出をマイナスするかを指定することが可能です。
- グラデーションのタイプや範囲を設定することで、様々なグラデーションNDフィルターの効果を再現することができます。





OFF



Grad ND ノーマル 最大減光量：-2.0

Grad ND撮影

基本的な撮影手順

1.  4 撮影設定メニュー（K-3 Mark III Monochromeは 3撮影設定メニュー）のGrad ND撮影で、グラデーション方式を選択します。
2. 「最大減光量」を、-0.3EV（1/2EVステップの場合は-0.5EV）から-5.0EVの範囲で設定します。
3. 露出を設定します。
4. 三脚などを利用してカメラを完全に固定して撮影します。1回のリリースで、適正露出、露出マイナスの順に2枚の画像を撮影します。
5. 合成確認画面で、合成領域の位置と幅を指定します。
6. 必要であれば、ISOボタンを押すことで合成結果を確認します。合成領域の指定をやり直す場合は、MENUボタンで5の合成確認画面に戻ります。
7. OKボタンまたはシャッターボタンで、画像処理を実行して合成画像を保存します。画像処理には約3秒の時間がかかります。


注意

- Grad ND撮影は、撮影した2枚の画像を合成することで、光学的なグラデーションNDフィルターを模す機能です。
- 2枚の画像を撮影するため、カメラを固定して撮影する必要があります。
- 動きのある被写体では、像が二重になるなど、合成がうまくいかないことがあります。
- 合成領域に露出オーバーになる被写体があると色が変わったり階調が出なかったりするので、合成領域に露出オーバーになるものが入ることを避けるときれいに合成できます。
- RAWデータも合成画像で保存されます。撮影後に機能をオフにしたり最大減光量や合成領域を変更することはできません。
- 露出マイナスはシャッタースピードで調整されます。適正露出のシャッタースピードは、露出マイナス分の余裕があるように、ISO感度を下げたり絞りを絞り込むなどして設定してください。

撮影のポイント





Grad ND撮影はグラデーションフィルターを模した効果を得られる撮影方法になります。撮影時に暗い部分の露出を基準として決定し、明るい部分の露出をどの程度抑えるか（暗くするか）を「最大減光量」に設定して撮影します。

「最大減光量」は撮影後に変更できないのでライブビューなどで明るい部分の露出と暗い部分の露出を検証し、その差を「最大減光量」に設定すると露出決定が分かりやすくなります。

※セットアップメニュー  2 画像モニター設定で、露出再現ライブビューをオンに設定すると露出を決めやすくなります。

Grad ND撮影

グラデーション設定

- 「ノーマル **Nor**」、「リバーズ **Rev**」、「カスタム 1 **C1**」、「カスタム 2 **C2**」、「カスタム 3 **C3**」から選択できます。
-  4 撮影設定メニュー（K-3 Mark III Monochromeは  3 撮影設定メニュー）の他に、コントロールパネルのカスタマイズで、「Grad ND撮影」を登録しておくことで設定できます。
- 「カスタム」では、ノーマルやリバーズの他に、ライン（暗）、ライン（明）からグラデーション方式を設定し、合成領域を予め登録しておくことも可能です。「カスタム」の詳細設定は、 4 撮影設定メニュー（K-3 Mark III Monochromeは  3 撮影設定メニュー）からまたはコントロールパネルで「Grad ND撮影」を選択してOKボタンを押してメニューを開いて行います。
- 「最大減光量」は、「カスタム」で登録できません。撮影シーンに応じてその都度設定します。

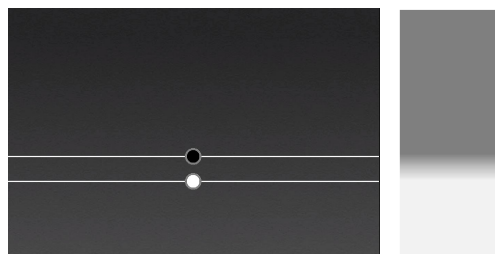


撮影メニュー



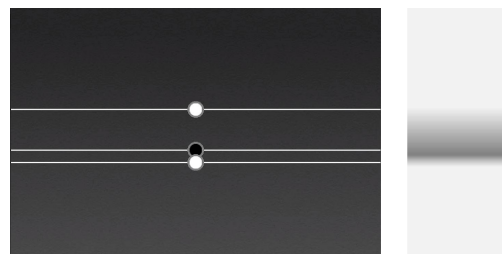
コントロールパネル

グラデーション方式



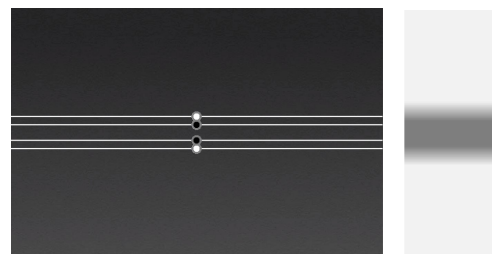
Nor ノーマル

明暗差を少なくして白とび・黒つぶれを抑える効果があります。



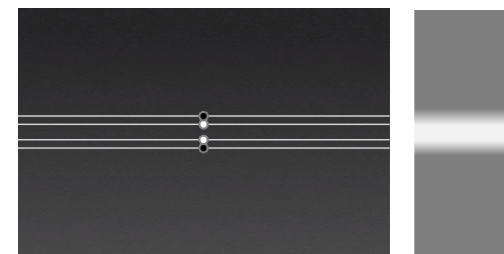
Rev リバーズ

水平線付近で最も輝度が高くなる日の出や日没の撮影で有効です。



Line 1 ライン（暗）

対岸の街明かりを抑えながら、風景を撮影するのに有効です。

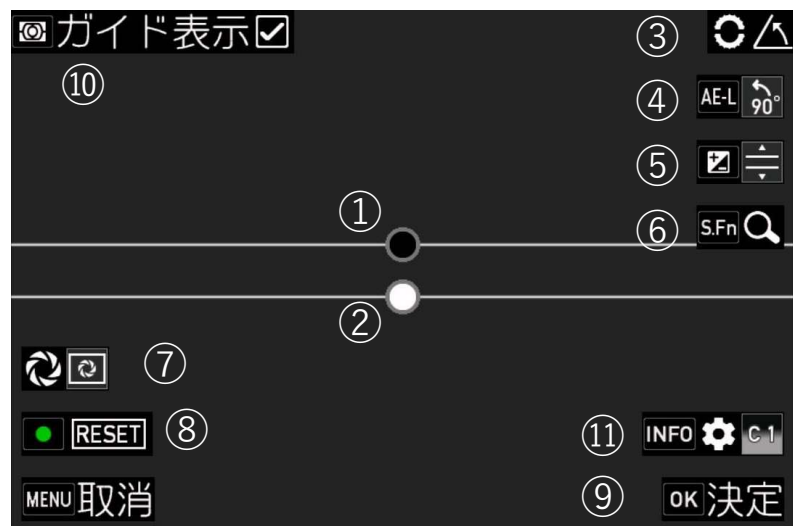












Line 2 ライン（明）

逆光で被写体の露出がアンダーになる場合に有効です。

Grad ND撮影

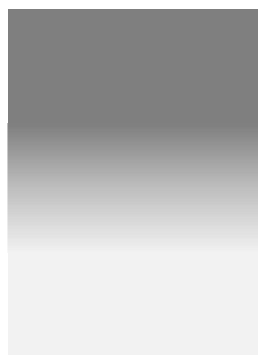
合成確認画面



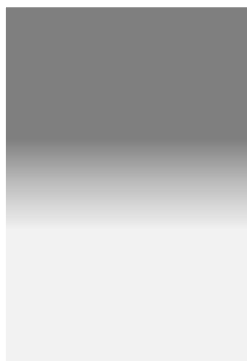
- ① 合成領域の始端（露出マイナス側）を十字キーで指定します。
- ② 合成領域の終端（適正露出側）を十字キーで指定します。
- ③ 前電子ダイヤル  で1度単位、後電子ダイヤル  で0.1度単位で、始端・終端を回転します。
- ④ AEロックボタン  で、合成領域を90度回転します。
- ⑤ 露出補正ボタン  で、合成領域の始端・終端の両方を移動するか、終端のみ移動するかを切り替えます。移動する線の選択は、グラデーション方式により異なります。グレイアウトの線（●/○が透過）は移動しないことを意味します。
- ⑥ スマートファンクションボタン  で、画像を縮小表示して、画面外に始端・終端を設定します。
- ⑦ 電源レバーのプレビュー  で、設定を終了する前に合成結果を予め確認します。
- ⑧ グリーンボタン  で、位置の指定を初期状態に戻します。
- ⑨ OKボタン  で、合成処理を開始して画像を保存します。
- ⑩ 測光モードボタン  で、ガイドの表示・非表示を切り替えます。
- ⑪ 「カスタム1～3」を選択している場合にはINFOボタン  でグラデーション方式を切り替えます。

※各種操作はタッチパネルでも操作が可能です。

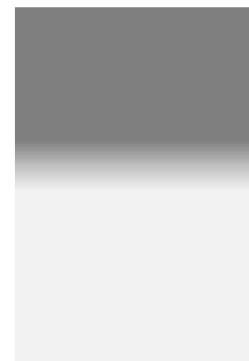
始端と終端の間隔を広げるとソフトなグラデーション、間隔を狭めるとハードなグラデーションに仕上がります。



ソフト



ミディアム

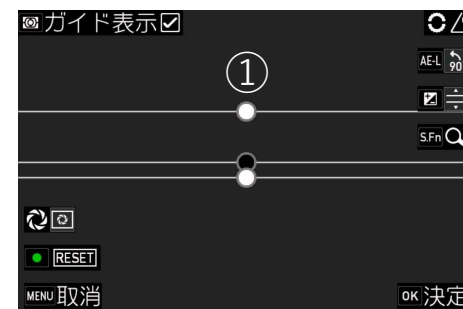


ハード

Grad ND撮影

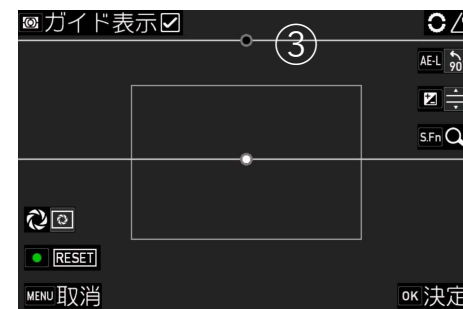
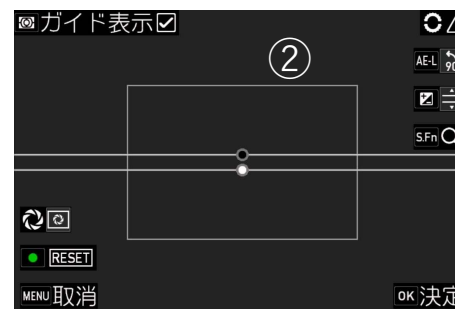
リバースの時の終端減光量について

グラデーション方式がリバースの場合、設定に「終端減光量」という項目が表示されます。この「終端減光量」は設定画面（右図）の①の部分の減光量を設定するものです。デフォルトでは 0.0EV に設定されていますが、0.0EV から最大限光量の +0.3EV まで設定することが可能です。この設定を変更することで、地面と中央部と空部の3つの露光差を設定できます。



画面外部への始点、終点の設定について

グラデーションの始点または終点を画面の外に設定したい場合には、スマートファンクションボタン **S.Fn** を押下し縮小画面表示（右図左側）にして十字キーで始点または終点を設定することが可能です。②のグレーの四角枠は撮影範囲を示す枠で、③が画面外に終点を設定した例になります。



合成について

Grad NDでは露出が異なる2枚の画像を合成することでグラデーションNDフィルターで撮影した様な効果を得るため、設定の始点、終点の間は画像が合成されます。具体的には黒丸（●）と白丸（○）に挟まれた部分が合成される領域になります。

合成される範囲に動くものや白飛びするようなものがあると2枚の画像を合成するためブレた画像になったり、色が変わったり階調がうまく出ないことがあるためその範囲を避けて撮影すると良い結果が期待できます。

